

# 地域公共交通対策等特別委員会記録

開催日時 令和2年3月5日(木) 10:32~10:49

開催場所 第1委員会室

出席委員 7名

太田 敦 委員長

荻田 義雄 副委員長

川口 延良 委員

浦西 敦史 委員

大国 正博 委員

清水 勉 委員

田尻 匠 委員

欠席委員 なし

出席理事者 折原 県土マネジメント部理事

山崎 交通部長 ほか、関係職員

傍聴者 なし

議 事

(1) 2月定例県議会追加提出予定議案について

## <会議の経過>

○太田委員長 ただいまより地域公共交通対策等特別委員会を開催いたします。

川口(延)委員は遅れるとの連絡を受けていますので、ご了承願います。

本日傍聴の申し出があれば20名を限度に入室していただきますので、ご承知ください。

まず、3月3日付けで理事者に異動がありましたので、交通部長、安全安心まちづくり推進課長の順に、自己紹介または関係職員の紹介をお願いします。

○山崎交通部長 交通部長の山崎でございます。どうかよろしくお願いたします。続きまして私から警察本部の紹介をさせていただきます。交通部参事官兼交通企画課長の金田でございます。

○金田交通部参事官兼交通企画課長 金田です。よろしくお願いたします。

○山崎交通部長 交通規制課長の今村でございます。

○今村交通規制課長 今村です。どうかよろしくお願いたします。

○山崎交通部長 以上です。どうかよろしく願いいたします。

○末武安全・安心まちづくり推進課長 安全・安心まちづくり推進課長の末武です。よろしく願いいたします。

○太田委員長 それでは、案件に入ります。

2月定例県議会追加提出予定議案のうち、当委員会に関連する案件は、お手元に配付しております令和2年2月定例県議会追加提出予定議案の概要に記載のうち丸印をつけた議案となります。なお、個々の議案の説明については、議案説明会が行われたため、省略いたします。

それでは、質問があればご発言をお願いいたします。なお、質問は追加提出予定議案の案件に限らせていただきますので、ご了承願います。

ご質問はありますか。よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、ご質問がないということでございますので、これをもちまして質問を終わります。

それでは、理事者の方のご退出願います。

委員の方は、この後しばらくお残り願います。

(理事者退席)

ただいまから委員間討議を行います。

この委員間討議もインターネット中継を行っておりますので、マイクを使って発言をお願いいたします。

先日の委員会でご意見がございました都道府県議会における交通関係の特別委員会の設置状況をまとめた資料を配付しております。ごらんいただきまして、ご意見などございましたらお願いいたします。

○清水委員 今、ざっと読ませていただきましたけれど、奈良県の本特別委員会と内容的に重複しているところは、石川県ぐらいでは。北海道は位置的な特性も異なりますので、ちょっと対象にはならないと思うのですが、中身に関することだけですから、議論されているもう少し詳しいことがあればと思いますけれど。

○奥田書記 この中の議論をされている概要、清水委員おっしゃったように、北海道とかは新幹線の建設促進や地方路線の存続についてというようなところで、ほかの県につきましては詳細な議論の内容を確認させていただきます。

○太田委員長 ほかご意見ございますでしょうか。

○田尻委員 清水委員おっしゃったように、沖縄県もこういう意味では、本県が思っていることと関連していると思いますけれど、この特別委員会は、公共交通を存続させながら県民の人口の減少をとめるとか、あるいは生活がしていけるように、医療、教育が受けられるようにという思いで設立されたと思うのですが、余りに広くて、なかなか絞った協議がしにくかったり、答弁する側がすっきりとした答弁ができない立場にあるのではと思いますので、例えば新しくリニアを中心とした県内の駅の誘致、駅の場所の確定、あるいは今度、奈良駅の南に新駅ができるとともに、京奈和自動車道の（仮称）奈良インターチェンジができる、そこでA Iを中心とした新しいまちづくりということで、大きく変わろうとしております。そういうことも含めて、もう少しここもという点も、具体的に加えていったらいいのではと思っております。今この委員会で、例えば新しいバスに対応するバス停のあり方でも、担当の道路管理課が来ていないのでそれに対しての回答が求められないとか、そういう点では少し不都合も出てきていると思いますので、もう少し皆さんと議論をして、答弁がきちっとできる、そんな委員会にするべきだという、私の意見を申し上げておきます。

○荻田副委員長 今、田尻委員からお話がありましたA Iタウン構想などは、県と市のまちづくり連携協定で新駅を核としたまちづくりをしていこうという形で、50ヘクタール余の地域を特定して、大安寺地区、八条地区、さらには大安寺西地区を中心とした新たなまちづくりの構想です。県と市では懇話会あるいはまた検討会等々学識経験者も入って対応しているわけですが、この件についてはあまり議会として詳しく説明もされていないように思うし、A Iタウンという新しいまちづくりになりますから、そういった人工知能や先端的な思いも込めてやるものですから、こういうものの箇所付けをしたり、この中では私が一番よくその辺のことはわかっているつもりですが、これらの問題意識の共有とか、いろいろな思いで情報収集したり、これから新たな点と線を結びつけていく中で、この特別委員会の所掌事務の取り扱いにかかわることが多いので、そういったこともこれから検討していけたらと思います。

○田尻委員 今の荻田副委員長の意見に賛同ですが、縣市連携を含めて新しいまちづくりということで、かなり大プロジェクトになってくる、これがある意味では全国的に一つの大きなモデル地域になるのではないかと、そのように思っております。ですから、例えば第1回A Iタウン特別検討会は開かれましたが、第2回がコロナウイルスの影響で延期に

なったようでございますが、一度また機会を見て、私も建設委員会での議論を考えておりますけれど、今現在の状況とか、かなり進んだような議論をしようという、そういう意気込みは感じられますので、その辺も一緒に皆さんとするべきだと、このように思います。

**○荻田副委員長** 先般の私の質問に対する知事の答弁の中にもありましたけれども、どちらにしても大きな事業でございますし、こういった中で前を向いて進めていくということと、次の改選期のときに各派連絡会やいろいろな形を通じてあろうかと思いますが、こういった所掌事務の取り扱いなどの検討もこれから大切だと思いますので、よろしく願います。

**○大国委員** この特別委員会の中での、もともとの議論は人口が減っていく中で、奈良市だけではなくて全県下的に公共交通の役割というのは非常に重要だという意味から、先ほど田尻委員もおっしゃったように、今の公共交通機関を維持しつつ、どのように充実していくかということ、また新たに課題となってきた、AIタウンというのは一つ出てきますけれども、ドア・ツー・ドアであったり、高齢者の皆さんが安心して住み続けていただけるようなまちづくりをどうしていくかというところを、やっぱり議論していくのがこの委員会だと捉えておりますので、その中の一つの手段としてAIであったりMaaSであったり、新たな取り組みも含めて、この委員会でどのように結論を出していくのかということがあります。直近では、公共交通基本計画の改定が予定されているので、そういうところももっと掘り下げて、その中にどうAIタウンを落とし込んでいくのかということも含めて、しっかりと議論していく必要があると思っています。

**○太田委員長** 川口（延）委員と浦西委員はよろしいですか。

皆さんそれぞれご意見いただきまして、リニアとか新駅の問題、AIタウンという話もございましたけれども、そういう先のお話ということと同時に、この委員会の出発点である人口減少の中で、地域公共交通をどう守っていくのかという、今、私たちに突きつけられている課題もございますし、そこをどう有機的にこの委員会の中で議論をしていくのかということをお問われているのではと思っております。駅の無人化とか路線の縮小とか、田尻委員のお話にもありましたけれども、そういったことを県の担当課から直接、働きかけることが難しかったり、ここで答弁が得られなかったり、そういう問題もございますので、その点ではもう少し、この委員会での理事者をどういう形で呼ぶのかということも考えていかないといけないですし、また子どもの交通安全対策を、警察と県土マネジメント部と一緒にここで議論できるという点では、この地域公共交通対策等特別委員会ならではの

ころかなと思いますので、今出されたご意見を参考にさせていただきますして、また次の6月議会で、ご提案できればと思っております。

清水委員からお話がありましたけれども、この一覧表の中で、一体どんな議論がされているのかということについて、少なくとも議会でどういう報告されているのかということぐらいはあるかと思っておりますので、もしそれ以上あれば、出してご議論できたらと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、改めまして、この意見、内容を踏まえまして、中間報告を6月定例会の事前委員会でお示しさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

これで本日の委員会は終わります。どうもありがとうございました。